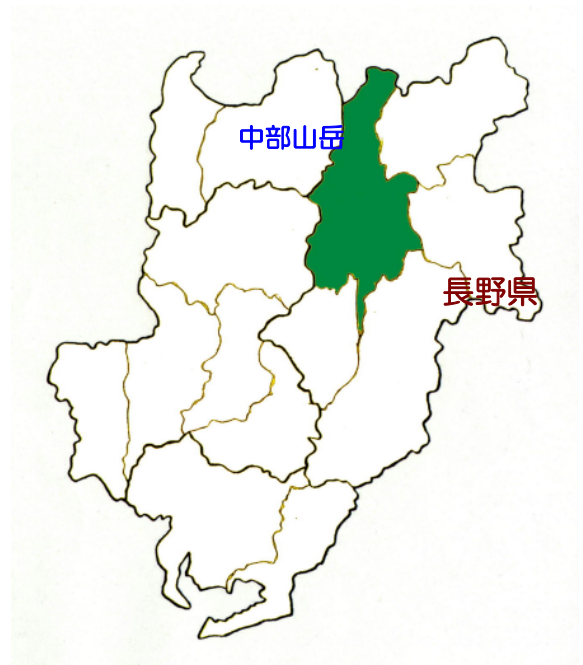


中部山岳森林計画区の概要

1 計画区の概要

- (1) 中部山岳森林計画区は、長野県北西部を北上する奈良井川・梓川・高瀬川の流域297千ha（長野県面積の22%）で、所在する森林の面積は235千haを対象としており、うち国有林野は99千ha。
- (2) 当計画区の国有林野は「日本の屋根」といわれる北アルプスの急峻な山岳地帯に多く所在し、山地災害防止機能の発揮等の役割への期待が大。一方、古くから登山のメッカとして多くの人々が訪れるなど、森林レクリエーションの場として利用。
- (3) 森林の構成は、人工林が15%、天然林が85%、人工林の樹種割合はカラマツが67%、ヒノキが22%。



2 事業量

計画期間における伐採、更新、保育、林道、治山の事業総量は以下のとおりです。

①伐採総量 (単位：m³)

区分	本計画	前計画
主伐	13,281	1,500
間伐	225,729	202,595
臨伐	24,990	16,205
計	264,000	220,300

②更新総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
人工造林	26	5
天然更新	0	24
計	26	29

③保育総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
下刈	135	176
つる切	318	240
除伐	865	862

④林道の開設及び改良の総量

区分	本計画	前計画
開設	路線数	3
	総延長(m)	7,150
改良	箇所数	63
	延長量(m)	1,967

⑤治山事業

区分	本計画	前計画
保全施設	山腹工	15
	溪間工	33
	その他	3
保安林の整備	1,069	2,414

※ 用語については、中部森林管理局ホームページ（森林計画等の用語の解説）を参照して下さい。